



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 柴山 恒晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安西 史朗 (TEL) 06-6571-1221
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,727	0.1	424	3.5	390	10.8	105	△30.5
25年3月期第2四半期	4,724	0.8	409	0.5	352	△3.3	151	△27.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 151百万円(15.4%) 25年3月期第2四半期 131百万円(△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.67	—
25年3月期第2四半期	9.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,744	8,694	46.3
25年3月期	17,999	8,590	47.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,687百万円 25年3月期 8,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,565	2.1	813	5.0	728	3.1	318	△4.2	20.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	15,876,010株	25年3月期	15,876,010株
26年3月期2Q	61,858株	25年3月期	60,799株
26年3月期2Q	15,814,347株	25年3月期2Q	15,815,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策による期待感から景況感が上向きつつあります。しかし、その一方で先進国の債務問題や新興国の成長の減速などの不安材料も抱えており、先行きに不透明感が強まる状況で推移しております。

このような環境の下、当社グループとしましては、様々な顧客ニーズに柔軟に対応できるよう積極的な営業活動を行ってまいりました。また、業務品質の向上を図るために前連結会計年度から引き続き、既存設備の改修・整備に加え新規施設設備の拡充のための計画・立案に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、47億2千7百万円となり、前年同四半期に比べ2百万円(0.1%)の増収となりました。営業原価は39億7百万円となり、前年同四半期に比べ5百万円(0.1%)減少しました。販売費及び一般管理費は3億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ6百万円(1.6%)減少した結果、営業利益は4億2千4百万円となり、前年同四半期に比べ1千4百万円(3.5%)の増益となりました。営業外収益においては受取配当金が増加し、営業外費用において支払利息が減少しましたので、経常利益は3億9千万円となって、前年同四半期に比べ3千8百万円(10.8%)の増益となりました。しかし、倉庫建替えに係る解体費用等を減損損失として特別損失に計上しましたので、当四半期純利益は1億5百万円となり、前年同四半期に比べ4千6百万円(30.5%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(倉庫業)

当第2四半期連結累計期間は、前年同四半期に比べ米やワイン原料、オートバイなどの保管料収入が増加しました。また、電機部品や加工食料品などの荷役荷捌料収入や運送手配料収入が増加しました。この結果、外部顧客に対する営業収益は、25億4百万円となり、前年同四半期に比べ7千8百万円(3.3%)の増収となりました。しかし、コスト面では動力光熱費や人件費、租税公課などが増加しましたので、前年同四半期に比べ1千万円(120.9%)損失額が増加し、1千9百万円のセグメント損失となりました。

(運送業)

機械配送やリネンサプライの配送業務などの取扱は堅調に推移しましたが、運送の付帯作業が減少しました。また、一部の低採算だった運送元請業務が契約切れとなり、この結果、外部顧客に対する営業収益は16億2千万円となり、前年同四半期に比べ9千1百万円(5.3%)の減収となりました。しかし、利益効率が改善されたこともあって前年同四半期に比べ4千1百万円(70.3%)の増益となり、9千9百万円のセグメント利益となりました。

(不動産賃貸業)

一部のテナントとの契約切れや料金の改定などの影響もありましたが、昨年12月と今年5月の新規の賃貸物件2棟の稼働もあり、外部顧客に対する営業収益は4億8千7百万円となって、前年同四半期に比べ5百万円(1.1%)の増収となりました。しかし、コスト面では減価償却費が増加したため、前年同四半期に比べ1千2百万円(3.8%)の減益となり、3億2千8百万円のセグメント利益となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場は、入場者数が減少して営業収益は1億3百万円となり、前年同四半期に比べ1百万円(1.0%)の減収となりました。コスト面では減価償却費や人件費、業務委託費等が増加しました。

売電事業は、6月より太陽光発電設備が大阪市の福崎倉庫にて新規稼働し、営業収益が1千1百万円となり、減価償却費を含めた諸費用が6百万円発生しました。

以上により、その他の事業の営業収益は1億1千5百万円となり、前年同四半期に比べ9百万円(9.2%)の増収となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ3百万円(17.3%)の減益となり、1千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億4千5百万円増加し、187億4千4百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金などの減少により流動資産が1億3千7百万円減少したのに対し、建設仮勘定などの増加で固定資産が8億8千2百万円増加したことなどによります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億4千1百万円増加し、100億4千9百万円となりました。これは、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどによります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億4百万円増加し、86億9千4百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成25年4月25日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正の詳細については、本日平成25年10月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,742	1,271,931
受取手形及び売掛金	985,590	867,204
リース投資資産(純額)	124,670	125,112
有価証券	927,973	867,426
繰延税金資産	99,732	95,834
未収消費税等	18,302	32,848
その他	122,950	73,755
貸倒引当金	△5,101	△4,996
流動資産合計	3,466,861	3,329,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,375,082	6,203,390
機械装置及び運搬具(純額)	268,048	416,909
工具、器具及び備品(純額)	71,470	70,924
土地	4,913,971	4,913,971
リース資産(純額)	21,368	14,915
建設仮勘定	44,002	878,096
有形固定資産合計	11,693,944	12,498,208
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	15,045	14,273
無形固定資産合計	310,335	309,563
投資その他の資産		
投資有価証券	2,143,497	2,214,155
繰延税金資産	87,321	83,527
その他	318,627	331,240
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	2,528,059	2,607,536
固定資産合計	14,532,338	15,415,309
資産合計	17,999,200	18,744,427
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,481	304,316
1年内返済予定の長期借入金	2,240,012	2,753,532
未払金	9,204	140,076
リース債務	13,551	12,307
未払法人税等	130,860	178,605
未払消費税等	21,641	19,885
賞与引当金	152,378	153,283
未払費用	230,612	193,495
その他	127,130	116,079
流動負債合計	3,280,872	3,871,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	4,753,694	4,827,518
長期預り金	236,400	244,116
リース債務	8,885	3,354
繰延税金負債	246,873	194,327
退職給付引当金	501,687	513,978
役員退職慰労引当金	148,495	162,857
資産除去債務	32,051	32,251
固定負債合計	6,128,086	6,178,403
負債合計	9,408,959	10,049,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,539,731	2,539,731
資本剰余金	2,314,681	2,314,681
利益剰余金	3,278,873	3,336,968
自己株式	△16,185	△16,459
株主資本合計	8,117,100	8,174,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465,791	512,171
その他の包括利益累計額合計	465,791	512,171
新株予約権	7,350	7,350
純資産合計	8,590,241	8,694,442
負債純資産合計	17,999,200	18,744,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	4,724,847	4,727,518
営業原価	3,912,836	3,907,683
営業総利益	812,011	819,834
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	220,721	225,555
その他	181,329	170,101
販売費及び一般管理費合計	402,050	395,656
営業利益	409,960	424,178
営業外収益		
受取利息	633	484
受取配当金	17,777	22,998
社宅使用料	11,215	11,626
持分法による投資利益	2,183	—
その他	9,728	14,337
営業外収益合計	41,537	49,446
営業外費用		
支払利息	77,364	70,489
持分法による投資損失	—	2,157
その他	21,922	10,588
営業外費用合計	99,286	83,235
経常利益	352,212	390,389
特別損失		
投資有価証券評価損	3,916	—
ゴルフ会員権評価損	15,502	—
減損損失	56,588	186,372
特別損失合計	76,008	186,372
税金等調整前四半期純利益	276,203	204,016
法人税、住民税及び事業税	140,611	169,460
法人税等調整額	△16,293	△70,999
法人税等合計	124,317	98,460
少数株主損益調整前四半期純利益	151,886	105,555
少数株主利益	—	—
四半期純利益	151,886	105,555

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,886	105,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,802	46,339
持分法適用会社に対する持分相当額	533	40
その他の包括利益合計	△20,269	46,380
四半期包括利益	131,617	151,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,617	151,936
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	倉庫業	運送業	不動産 賃貸業	その他の 事業	計		
営業収益							
外部顧客に対する営業 収益	2,425,576	1,711,226	482,460	105,584	4,724,847	—	4,724,847
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	21,532	772,831	83,622	23,283	901,269	△901,269	—
計	2,447,109	2,484,058	566,083	128,867	5,626,117	△901,269	4,724,847
セグメント利益又は損失 (△)	△8,826	58,505	341,438	18,844	409,960	—	409,960

(注)1 調整額901,269千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益に一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「不動産賃貸業」セグメントにおいて、一部倉庫設備の建替えの計画案が決定されたことに伴い、除却する固定資産については帳簿価額を全額減額とし、当該減少額と既存建物等の解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において56,588千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	倉庫業	運送業	不動産 賃貸業	その他の 事業(注)3	計		
営業収益							
外部顧客に対する営業 収益	2,504,376	1,620,213	487,665	115,262	4,727,518	—	4,727,518
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	25,964	773,547	83,418	23,283	906,214	△906,214	—
計	2,530,341	2,393,761	571,084	138,545	5,633,733	△906,214	4,727,518
セグメント利益又は損失 (△)	△19,492	99,637	328,443	15,589	424,178	—	424,178

(注)1 調整額906,214千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益に一致しております。

3 第1四半期連結累計期間から当社において、新たに売電事業を開始しており、「その他の事業」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「不動産賃貸業」セグメントにおいて、一部倉庫設備の建替えの計画案が決定されたことに伴い、除却する固定資産については帳簿価額を全額減額とし、当該減少額と既存建物等の解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において186,372千円であります。